



チー ム 下 山

身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

下山小の合い言葉 あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり

立冬（11月7日）が過ぎ、下山小学校のしだれ桜の葉も、いつになく早く散り始めています。この時期は、冬の気配が山にも里にも感じられる頃で、木々の葉が落ち、冷たい風が吹き、冬枯れの様子が少しずつ目立ってきます。



しかし、下山小学校の校庭の遊具は、近づく晩秋を追い返し、気持ちの上では、秋の盛りを満喫しています。3年生の図工の学習「ぬのをつないでいく活動（造形遊び）」で、遊具をカラフルな色でコーティングし、みんなで紅葉を楽しみました。下山小学校の周りは、豊かな自然に囲まれています。雑草との闘いもありますが、四季折々の美しい変化も楽しめます。是非、学校や校長室にもお立ち寄りください。

修学旅行特集！



6年：修学旅行

今年度から3校合同修学旅行になりました。コロナ禍でしたが、細心の注意を払い、静岡方面2泊3日の旅へ無事に行ってくることができました。3校合わせて48名の6年生全員が参加できたことが何よりも嬉しかったです。小学校6年間の集大成としての意味もあり、実施できたことに安堵しました。保護者の皆様をはじめ、修学旅行に携わったすべての方々に感謝申し上げます。

まずは浜名湖に到着して全員で記念撮影！



浜名湖遊園地で思い切り心と体の開放

テーブルマナーを意識しての夕食！



東海大学自然史博物館での人の進化の様子？



久能山東照宮で徳川家康の時代にタイムスリップ！



沼津魚市場で競りの様子を見学

次号では、2学期に行われたそれぞれの学年の行事を特集で紹介いたします。

富士川クリーン活動



この富士川クリーン活動は、30年目を迎えました。峡南地区の各小中学校で実施しています、写真は下山小学校区の富士川クリーン活動の様子です。環境問題を考える中で、「まずは、自分たちの足下を見据えて行動する。」ということから、地域の川とその支流、そして通学路の美化運動に取り組んでいます。大変貴重な時間、ご協力ありがとうございました。今回の参加人数341名、ゴミの重さ約100kg、身延町が更にきれいになりました。



11/7(土) 恩賜林記念館で緑の活動発表

緑の少年隊は、次代を担う子どもたちが、緑の少年

隊出張授業(森や緑に関する学習活動)、美化活動(富士川クリーン活動もその一つ)、地域の社会奉仕活動、また、体験的な活動を通して、自然を愛し、人を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした子どもたち主体の団体です。山梨県では、現在27市町村全部に設立されており、学校や地域を単位として65隊約6,900人(令和元年6月現在)の子どもたちが、それぞれの地域で様々な活動をしています。そのうちの1隊が下山小学校です。



3人の児童会役員が堂々の発表!

今回の発表は、身延町の紹介から始まり、学校内外で行っている自然体験活動等の紹介をしました。結びに、「現在の身延町は、長い歴史のなかで生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。先人が守り、受け継いできた歴史、文化、自然。これからは私たちが守り伝える番です。」と、力強い決意表明で締めくくりました。審査の結果、見事「優良賞」を受賞することができました。12月の金曜集会でも、全校児童にもう一度お披露目の予定です。



表彰式での一コマ |

教育課程の中には、「ふるさと」に関する学習があります。「町探検」や、「暮らしを支える町の働き」、「歴史的人物と遺産」等々、地域の方々に講師になっていただいたり、地域に出かけて行って、地域の人やそこで働く方々から学んだり・・・これからも、そんな学習をしていければと思います。「地域に開かれた学校から地域と共にある学校」というキーワードを大切にしていきたいと思えます。ふるさとに誇りをもち、ふるさとを大切にする子どもたちに育てほしいと願っています。

コロナ禍での自分自身への対応!

江戸時代の儒者・佐藤一斎の著書「言志四録」の中の言葉に「薫風(春風)をもって人と接し、秋霜をもって自らを慎む」という、私の好きな言葉があります。「人と接するときは、春風のように穏やかで和やかな心、伸びやかで寛大な心で接し、自分に対するときは秋の霜のように鋭く烈しく厳しい心で律していかなければならない。」という意味です。つまり、「人に優しく、自分に厳しく」です。

10月の終わりに、数日間の研修の機会がありました。コロナ禍にある現在、「人に優しく、自分にも優しくすることが大切」という講師の話された言葉が印象的でした。間違っても、「人に厳しく自分に甘く」には、なりたくないものです。難局に立ち向かうためには、自己肯定感をもち、ピンチをチャンスに変える心構えが必要になるのでしょうか。



文責 校長 片田幸樹